

〔豊後高田市〕 長崎鼻（ながさきばな）地区

長崎鼻には、海水浴場を含むリゾートキャンプ場がありますが、その周辺は高齢化による後継者不足から耕作放棄地となり、荒廃していました。

平成19年に、地域の有志が「花いっぱい運動推進グループ」を結成し、耕作放棄地の解消と景観再生のため、菜の花やひまわり、コスモス等を育て始めました。

29aから始めた花づくりも、現在では15haにまで広がり、四季を通じた花畑と海とが美しい景観を形成し、多くの観光客が訪れる観光地へと成長しました。

また、地域づくりに取り組む『NPO法人長崎鼻B・Kネット』は、花と産業を結び付けるべく花の種から搾油を行い、同キャンプ場に開設したレストラン「フィオーレ」でふるまう料理での活用や商品として全国に販売しています。

これらの花による地域活性化の取り組みが高く評価され、平成27年には、両団体が「全国花のまちづくりコンクール」において最高賞の農林水産大臣賞を受賞しています。

